

【発表項目およびコメント】

熊本地震10年に係る取組みの実施について

県道熊本高森線の4車線化全線供用

地域産業成長プランの策定

輸送資源をフル活用した地域公共交通の課題解決

保護犬・保護猫の一時預かりボランティア制度の運用開始

県営小山田団地 ペット共生住宅の試行開始

熊本地震10年に係る取組みの実施について

【趣旨・目的】

熊本地震から10年の節目に、県と県内全市町村共催の合同追悼式のほか、以下の取組みにより、「災害に強い熊本」の実現の更なる推進を図り、創造的復興を目指す熊本の姿を全国に発信する。

◆オール熊本での災害対応力の強化

防災・減災対策の一層の充実と次世代を担う人材育成の強化

◆「創造的復興の歩み×くまもとの魅力」の情報発信

復興に向かう熊本の姿を御支援への感謝とともに広く発信



熊本地震10年に係る主な取組み

◆オール熊本での災害対応力の強化

○地域の防災力強化に向けた普及・啓発

～ 犠牲となられた方々を県全体で追悼 ～

熊本地震10年犠牲者合同追悼式 [4月]



～ マイタイムラインの普及等を通じた防災意識の向上 ～

県防災センター展示・学習室の土日特別開館 [4月]

県防災センター展示・学習室や各地域での防災講座等の実施 [通年]

～ 熊本地震の記憶や教訓の継承 ～

震災ミュージアム(KIOKU)での市町村連携企画展

(発災当時の市町村広報誌や地震で被災した物品等を
KIOKUで展示) [9月～11月頃]



熊本地震10年に係る主な取組み

◆オール熊本での災害対応力の強化

○次世代を担う人材育成の推進

～ 子どもたちの防災教育の充実 ～

くまもと学校防災月間[4月]・探究型避難訓練の推進 [通年]

～ 地域防災リーダーの養成・連携強化 ～

防災士等のスキルアップ研修等の実施 [6月～R9.3月]



○県・市町村職員の災害対応力の向上

～ 県内自治体の災害対応力の向上を目指す ～

市町村長向け県防災・危機管理トップセミナー [4月]

地震を想定した県総合防災訓練 [9月～11月頃]

～ 全国の自治体職員が熊本で災害対策を学ぶ ～

自治体災害対策全国会議(講演・パネルディスカッション等) [10月]



熊本地震10年に係る主な取組み

◆「創造的復興の歩み×くまもとの魅力」の情報発信

○地震から10年をテーマとした広報展開

～ 熊本地震10年の取組みをまとめてお知らせ ～
熊本地震10年の取組みの県特設サイトを開設 [2月]

～ 復興に向かう熊本の姿を全国に発信 ～

「地震から10年、今の熊本」をテーマとした県内外への広報展開 [通年]
（「地域振興、観光、食、歴史・文化」など多彩なくまもとの魅力等を幅広くPR）



熊本地震10年に係る主な取組み

◆「創造的復興の歩み×くまもとの魅力」の情報発信

○イベントやプロモーション等と連携した情報発信

～ 熊本復興の軌跡を「見て、知って、体感する」～

ONE PIECE熊本復興プロジェクト10年展 [3月～5月]



～ スポーツの力で復興を祈念 ～

熊本ヴォルターズ熊本地震復興10年祈念試合 [4月]

サントリーサンゴリアス熊本地震復興試合 [4月]

～ 熊本観光の魅力と復興を全国に発信 ～

熊本デスティネーションキャンペーン [7月～9月]

～ 県産品に復興の思いを込めて都市部(東京・大阪・福岡)でPR ～

くまもとモン×〇〇ジャック [1月～R9.1月]



熊本地震10年に係る主な取組み

◆市町村独自の取組み（現時点で県が把握しているもの）

追悼式	西原村、南阿蘇村、益城町 [4月]
シンポジウム・講演会	益城町 みんなでツナグVol.10 [3月] 大津町 熊本地震シンポジウム [4月] 西原村 防災座談会 [4月]
防災訓練	上天草市 総合防災訓練 [11月] 熊本市 特別防災訓練、TKB48避難所訓練 [時期未定]
イベント・プロモーション	益城町 文化会館震災10年事業(ピアノコンサート・講演会) [3～4月] 西原村 復興感謝祭 [4月] 大津町 海上自衛隊東京音楽隊復興演奏イベント [6月] 熊本市 熊本城REVIVAL2026 [通年]

地域産業成長プランを策定します

【国】地域未来戦略（5月頃まで）

地域ごとの産業クラスター形成と、地場産業の付加価値向上等を支援

【九州経産局】

戦略産業クラスター計画

成長投資促進と一体の
インフラ整備等

【熊本県】（5月頃まで）

地域産業成長プラン

産学官金エコシステム形成
中小企業の人材育成支援等

地域産業成長プラン 対象分野(想定)



I 半導体産業と半導体ユーザー産業

II 食のみやこ創造と
ライフサイエンス産業

III 観光関連産業



※内容については、今後開催予定の
有識者会議での意見も踏まえ検討

県道熊本高森線の4車線化全線供用

- ・熊本地震からの創造的復興を目指し、平成28年度から着工
- ・4車線化区間 全線延長約3.8km

令和8年3月20日（祝・金）午前8時から全線供用を開始

4車線化区間 全延長約3.8km



県道熊本高森線の4車線化全線供用

甚大な地震被害を受けた益城町

益城町の「復興まちづくり」を支援

3つのコンセプトを掲げて、4車線化事業に着手

恒常的な交通渋滞

歩道幅が狭く歩行者等の通行に危険

倒壊建物が道路を閉塞

① 交通の円滑化

② 安全な歩行空間の確保

③ 防災機能の向上

県道熊本高森線の4車線化全線供用

計画策定に向けた地域の皆様との取り組み



説明会

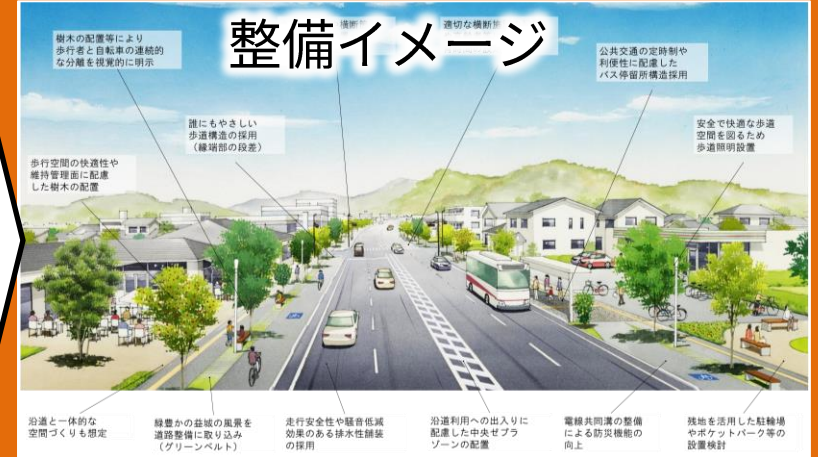


意見交換会



歩道の原寸モデル体験会

意見を反映



創造的復興

供用開始後の効果※写真は供用済箇所



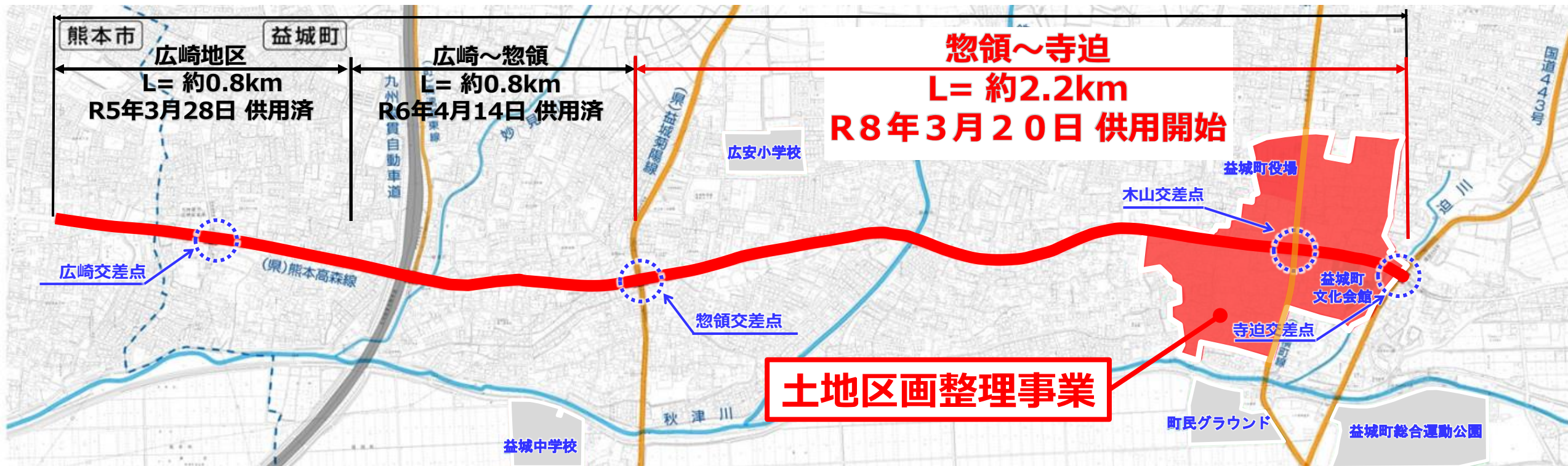
県道熊本高森線 全線供用記念式典

【開催日時】	令和8年3月20日（金・祝日） 午後1時30分
【会場】	益城町総合体育館
【主催】	熊本県・益城町
【内容】	来賓祝辞・くす玉開披 等

益城町復興まちづくり(木山地区土地区画整理事業)

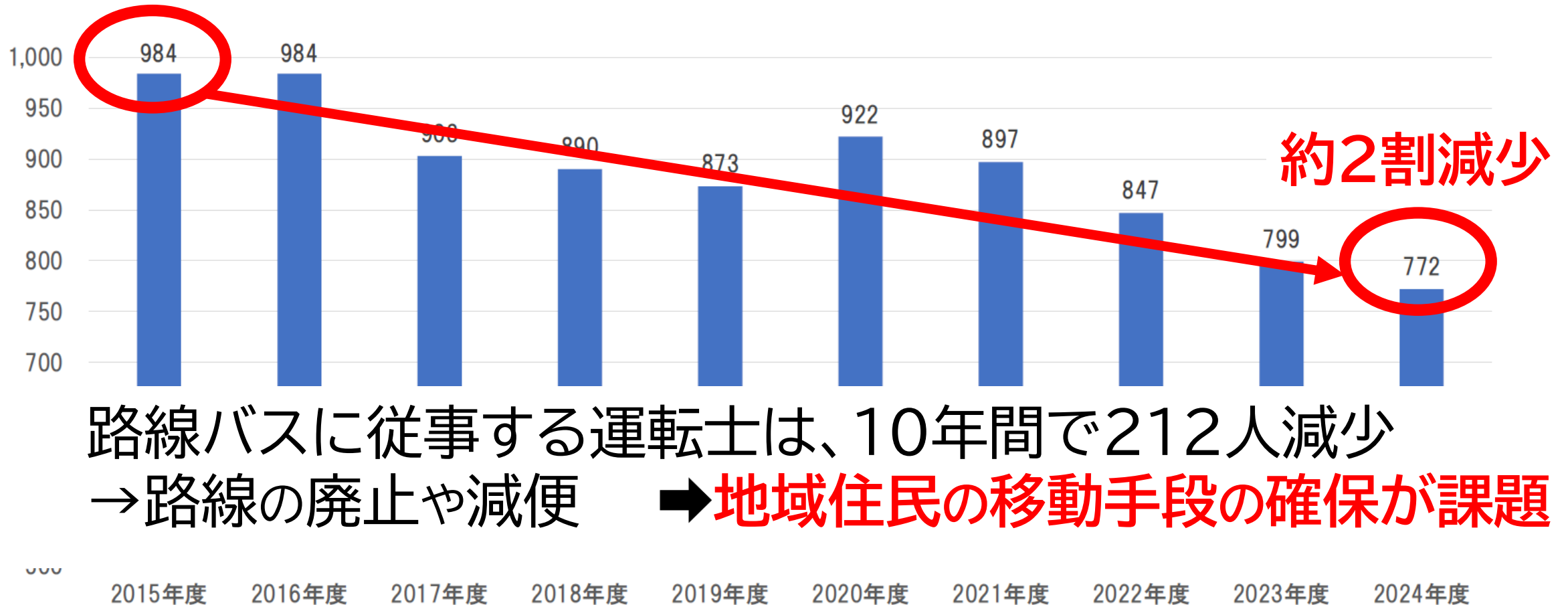
令和9年度の完了に向け、事業を実施

益城町の「復興まちづくり」実現のため、
今後も熊本地震からの創造的復興を支援



輸送資源をフル活用した地域公共交通の課題解決

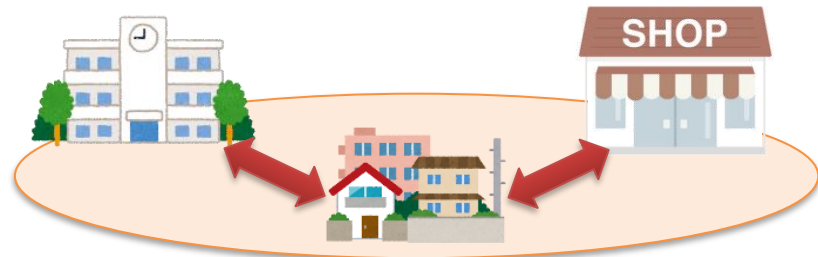
県内の路線バスに従事する運転士数の推移



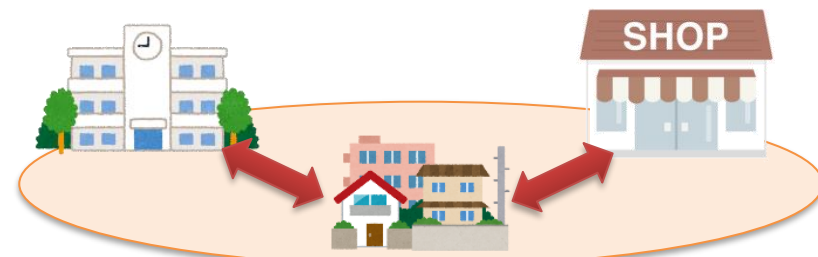
■従事者数(単位:人)

公共施設や商業施設等の 統合・集約による移動需要の増大

現状



A地域

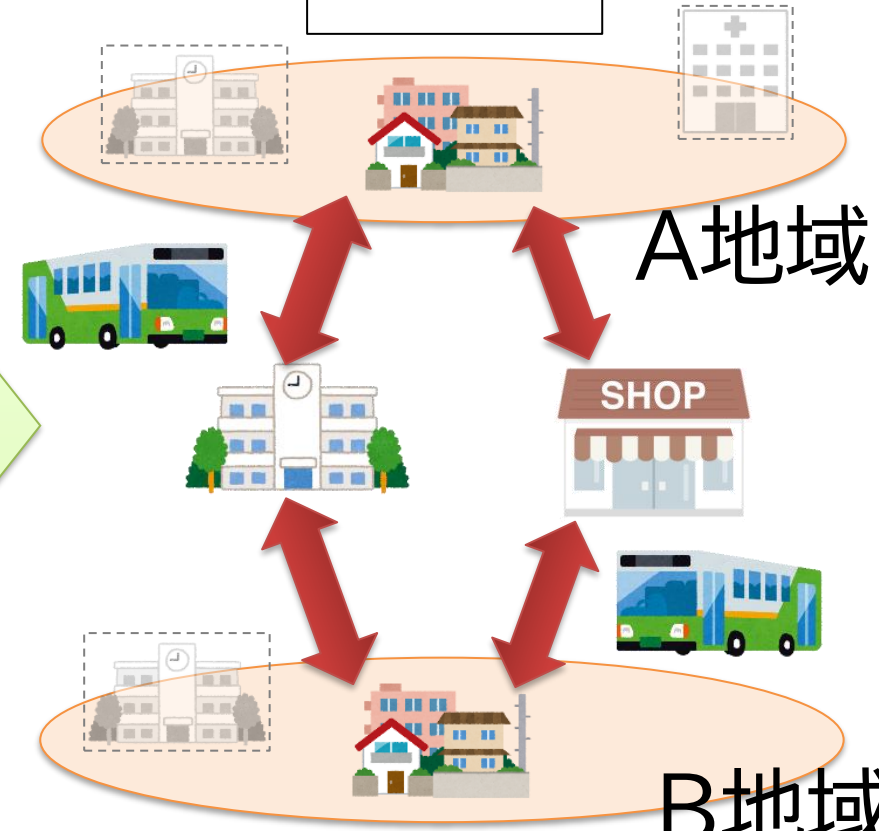


B地域

それぞれの地域で公共施設や
商業施設等が立地

人口減少を
踏まえた
統合・集約

今後



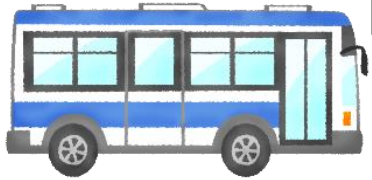
A地域

B地域

統合された公共施設等を利用

地域における輸送資源のフル活用

現状



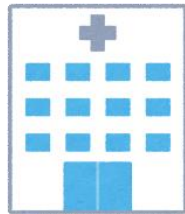
路線バス
コミュニティバス



市街地



福祉車両



病院・福祉施設



スクールバス



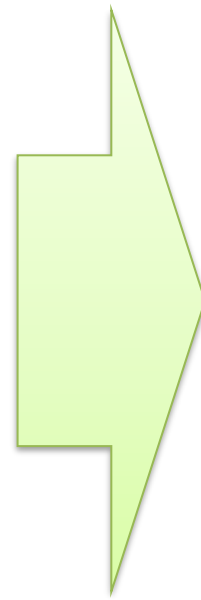
学校



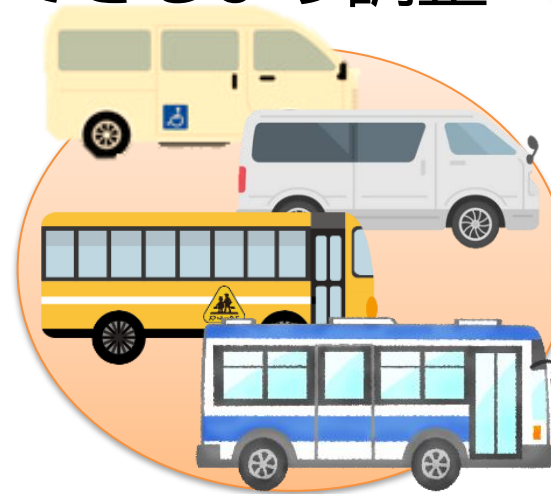
送迎車両



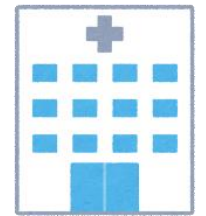
旅館・ホテル



各分野の車両と
運転士の空き時間を
他の用途に活用
できるように調整



今後



住民の移動手段を確保、地域の暮らしを安定

県内における地域資源フル活用の事例

芦北町ふれあいツクールバス

登下校時間帯はスクールバス、
日中はコミュニティ交通（ふれあいツクールバス）
として運行

児童・生徒だけでなく高齢者や
車を持たない住民の移動手段を確保



輸送資源のフル活用に向けた 庁内プロジェクトチームの設置

輸送資源フル活用推進プロジェクトチーム

(2月中設置予定、課題解決に取り組んでいる市町村等も参加予定)

交通

健康
福祉

教育

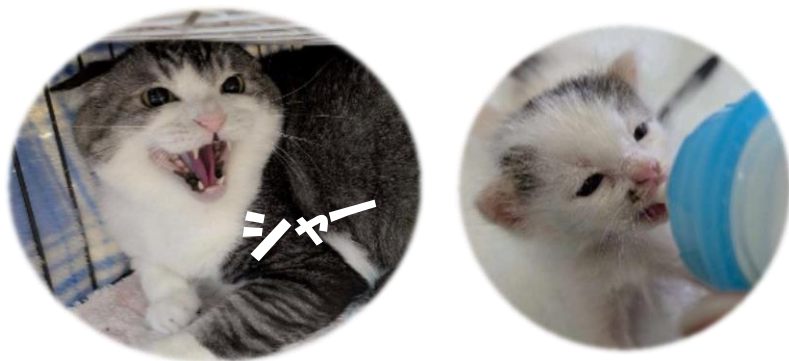
観光

部局横断で連携し、地域の交通課題の解決を推進

保護犬・保護猫の 一時預かりボランティア制度の運用開始

3月2日
募集開始

- アニマルフレンズ熊本では、
保護した犬・猫の収容頭数が
高止まり
- 特に、人に馴れていない猫の
譲渡が進んでいない



一時預かりボランティア制度

- 馴化（じゅんか）ボランティア
＝人に馴れていない猫
- ミルクボランティア
＝授乳が必要な子犬・子猫



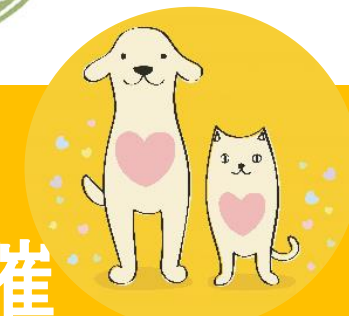
○人馴れが進む

- 譲渡につながり
やすくなる
- 高齢者への
飼育機会の拡大



2月15日（日）10時～12時

アニマルフレンズ熊本で「休日譲渡会」を開催



県営小山田団地 ペット共生住宅の試行開始

県営住宅は、動物アレルギーやペットが苦手な入居者に配慮し、**ペットの飼育を原則禁止**。

【県での検討】

- ・効果（高齢者の社会的孤立解消等）
- ・ニーズ
（ペット可の民間賃貸物件の増加）

【小山田団地入居者】

- ・要望
（自治会から要望書の提出）

- ・協議（飼育ルール等）
- ・入居者への説明
- ・同意（ペットとの共生）

【県営住宅での新たな取り組み】

令和8年3月1日 3棟でペット共生の試行開始



県営小山田団地（熊本市西区島崎）

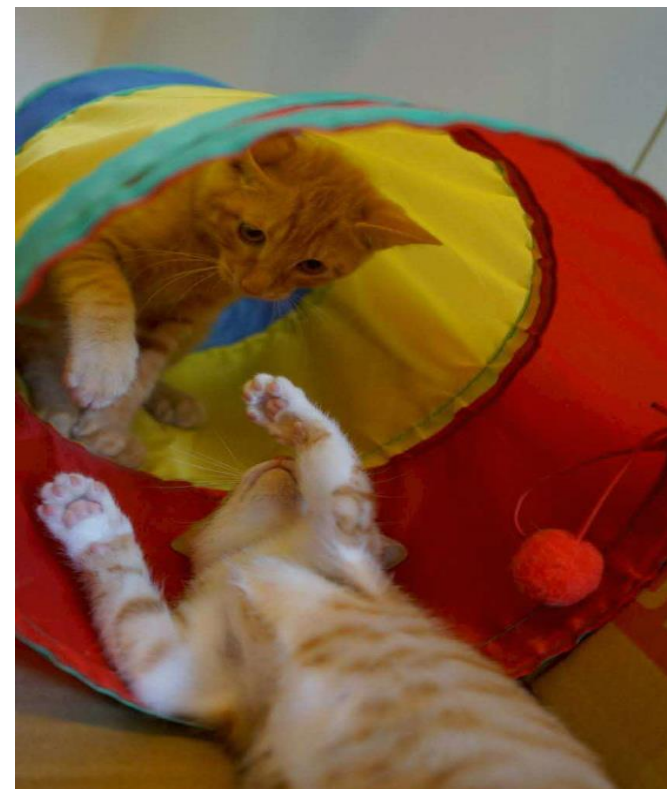
県営小山田団地 ペット共生住宅の試行開始

1 飼育にあたって

- (1) 動物愛護を理解し、人と動物が共生できる
快適な生活環境の形成に協力する
- (2) 「熊本県営住宅におけるペット飼育取扱要綱」や「自治会作成ルール」を遵守する

2 今後の取組み

- (1) アニマルフレンズ熊本の協力による、ペットの譲渡や飼養に係る**適正な管理方法の指導**などを実施
- (2) ルールの遵守状況、相談対応等から**課題を抽出**
及び**課題解決策の協議**による検証



写真提供：アニマルフレンズ熊本